

Westlaw Japan

判例の検索項目の活用方法

本ガイドでは、判例の検索項目の活用方法を詳しくご紹介します。検索項目については、クイックリファレンスガイド（*1）でもご紹介していますが、本ガイドはコンテンツを判例に限定して、より実践的な使い方をご説明しています。ぜひ、日々の検索にご活用ください。

判例以外のコンテンツも含めた製品全体の使い方については、クイックリファレンスガイドまたはヘルプサイト（*2）をご参照ください。

*1 クイックリファレンスガイド：https://www.westlawjapan.com/pdf/user_g.pdf

*2 ヘルプサイト：<https://www.westlawjapan.com/cs/help/manual/>

目次	ページ
1. はじめに	1
2. 「民事」、「刑事」チェックボックス	1
3. 検索語（キーワード）	2
4. 裁判所	7
5. 裁判年月日	8
6. 事件番号	8
7. 事件名	9
8. 裁判官名	10
9. 出典・評釈	10
10. 参照条文	11
11. 新判例体系のカテゴリ名検索	12

1. はじめに

本ガイドでは、はじめに判例の「条件検索」画面の各種検索項目についてご説明して、最後に「新判例体系」画面の検索項目についてご説明します。

これらの検索画面は、製品の「判例」タブ → 「条件検索」と「新判例体系（法分野から選択）」タブからアクセスします。



2. 「民事」、「刑事」 チェックボックス



交通事故、医療過誤等の訴訟において、キーワードだけで検索を行うと民事事件と刑事事件の両方がヒットしますが、キーワードと「民事」、「刑事」チェックボックスを組み合わせることで、民事または刑事事件だけに絞り込むことができます。（※行政分野の事件は「民事」に含まれています。）

刑事事件については、罰則規定を参照条文に指定して絞り込む方法も考えられますが、このチェックボックスを使えば簡易に刑事事件に絞り込むことができます。

3. 検索語（キーワード）

(1) 「フリーワード」タブと「AND/OR」タブの使い分け

「フリーワード」タブは、キーワードやコネクターを自由に記述することができます。「AND/OR」タブは、3列×5行の表形式の入力欄にキーワードを入力して、掛け合わせの条件を作ることができます。

これらのタブは、基本的に好みで使い分けて構いません。ただし、「AND/OR」タブは、入力できるキーワード数や、表現できる検索条件に限りがありますので、より柔軟な検索を行いたい場合は「フリーワード」タブを使います。

(2) 「フリーワード」タブの使い方

利用可能なコネクター

フリーワードタブでは、次のコネクターを使うことができます。

コネクター	書式	説明
AND (&、半角・全角スペースで置き換え可能)	X AND Y	XとYの両方を含む。
OR	X OR Y	XとYの少なくとも一方を含む。
BUTNOT (%で置き換え可能)	X BUTNOT Y	Xは含むがYは含まない。
/n	X /n Y (nは1~255までの整数)	XとYを含み、それらはn文字以内の距離にある。XとYの出現順は問わない。
+n	X +n Y (nは1~255までの整数)	XとYを含み、それらはn文字以内の距離にある。X→Yの順で出現する。
()		コネクター間の優先順位を指定する。
""		スペースやコネクター (&など) そのものを検索する場合に使用する。

コネクターに関する一般的な注意事項

- コネクターの前後には、半角または全角のスペースを加えます。
(例) 集会□OR□ミーティング (□部分に半角または全角のスペースを加えます。)
- AND、OR、BUTNOT は、大文字・小文字、全角・半角のいずれも使用可能です。

AND

- 全角・半角の「&」またはスペースで置き換えることができます。
大文字、小文字ともに使用できます。
(例) 株主総会 無効
- 複数個つなげて使用することも可能です。
(例) 株主総会 決議 無効 確認

OR

- 複数個つなげて使用することができます。
(例) 社員 OR 従業員 OR 使用人

BUTNOT

- BUTNOT の前にあるキーワードを含み、かつ、後ろにあるキーワードを含まない文書を検索します。
(例) 地上権 BUTNOT 法定地上権
⇒ 「地上権」を含むが、「法定地上権」は含まない文書を検索します。
- 必ず、X BUTNOT Y のように、BUTNOT の前後にキーワードを指定します。
(X 部分を指定せず、BUTNOT で始まる検索式で検索することはできません。)
- 複数個つなげて使用することができます。
(例) 社員 BUTNOT 派遣社員 BUTNOT 契約社員
⇒ 「社員」を含むが、「派遣社員」と「契約社員」のいずれも含まない文書を検索します。
このように BUTNOT が連続しており、()による優先順位の指定がない場合、検索式の先頭(左側)から順にコネクターが動作します。つまり、「社員」を含むが「派遣社員」を含まない文書が検索され、さらに、その検索結果の中で「契約社員」を含まない文書が検索されます。この検索式は、社員 BUTNOT (派遣社員 OR 契約社員) と同じ結果となります。

/n および +n

- 「/5」、「+5」のように、n 部分に 1~255 までの整数を指定して、これらのコネクターの前後にキーワードを指定します。
- 指定したキーワードがいずれも含まれ(この点で AND 条件と同じ)、かつ、キーワード間の文字数(距離)が n 文字以内である文書を検索します。このとき、「/n」はキーワードの出現順は問いませ

ん。「+n」は指定した順序でキーワードが出現する文書だけがヒットします。

(この検索機能のことを PRO サーチと呼びます。)

(例)

「主位的には不当利得返還請求権に基づき、予備的には不法行為に基づく損害賠償請求権に基づき」というテキストを含む文書の検索結果

検索条件式	検索結果
予備的 /10 不当利得返還請求権	ヒットする
予備的 +10 不当利得返還請求権	ヒットしない

- n で示される文字数（距離）は、一方のキーワードの次の文字から、他方のキーワードの先頭文字までの文字数（先頭文字も含む）で数えます。一方のキーワードの次の文字を1文字目として、nで指定された文字数以内に、他方のキーワードの先頭文字が出現していればその文書はヒットします。

(例)

次のテキストは、「不行使 /8 違法」ではヒットしませんが、「不行使 /9 違法」であればヒットします。

不	行	使	が	国	家	賠	償	法	上	の	違	法	性	を	帯	び	る
			1	2	3	4	5	6	7	8	9						

- 「/n」、「+n」とともに、複数個つなげて使用することができます。

(例) 権限 /5 不行使 /5 違法

⇒ この場合、「権限」、「不行使」、「違法」の3つのキーワード（出現順は問わない）が5文字以内の距離で、連続して（5文字以内の条件が途切れずに）出現していればヒットします。

たとえば、「権限の不行使が常に違法となるということとはできない」というテキストは、「権限」と「違法」は5文字以上離れていますが、「権限」と「不行使」、「不行使」と「違法」はそれぞれ5文字以内の距離にあり、これらは連続している（5文字以内という条件が途切れていない）ため、この検索条件でヒットします。

- 「/n」と「+n」を混在させたり、nに異なる数値を指定したものを混在させることも可能です。

(例) (善管注意義務違反 /10 債務不履行) +20 損害賠償

⇒ ①「善管注意義務違反」と「債務不履行」が10文字以内の距離にある（出現順は問わない）、②これらのいずれかと「損害賠償」が20文字以内の距離にある、③「善管注意義務違反」なし「債務不履行」の次に「損害賠償」が出現する、の3点をすべて満たす文書がヒットします。

- 「/n」と「+n」は、キーワード入力欄の下にある、PRO サーチ入力欄（下図）を指定することでも指定できます。この入力欄を指定すると、キーワードに含まれる AND 条件部分（スペースも含む）が、「/n」または「+n」コネクタに置き換えられて検索されます。

(例)

次の例では、AND 部分が「+20」に置き換わり、「(接見 OR 授受)+20(拒否 OR 拒絶)」として検

索されます。

検索語

検索範囲 : すべて 要旨 全文

フリーワード AND/OR

接見 OR 授受 AND (拒否 OR 拒絶) ▶ 検索記号選択

Proサーチ : 検索語間が 20 (1~255) 文字以内で、語順に 従う 表記の挿れを含む

なお、「/n」と「+n」のコネクターを直接記入する方法と、PRO サーチ入力欄を使う方法を同時に使用することはできません。

" " (ダブルクォーテーション)

- キーワードに含まれる「&」、「AND」、「%」、スペース等を、コネクターとして使うのではなく、これらの文字自体を検索したい場合は、当該キーワードを""で囲みます。

(例) "Westlaw Heavy Industries Co., Ltd."

"J. Westlaw & Co."

コネクターを組み合わせる → ()で優先順位を指定する

- AND、OR、BUTNOT、/n、+nのコネクターは組み合わせて使うことができます。これらを組み合わせる場合は、必ず、()を使ってどの順序で検索するかを優先順位を指定します。

(例)

(接見 OR 授受 OR 差し入れ) AND (拒否 OR 拒絶 OR 制限)

⇒ 「接見」、「授受」、「差し入れ」のいずれか1つ以上を含み、かつ、「拒否」、「拒絶」、「制限」のいずれか1つ以上を含む文書を検索します。

(権限 +5 不行使 +5 違法性) AND 予見可能性 AND 回避可能性

⇒ 「権限」、「不行使」、「違法性」が5文字以内の距離にあり（語順は指定に従う）、かつ、「予見可能性」と「回避可能性」も含む文書を検索します。「予見可能性」と「回避可能性」については、「権限」、「不行使」、「違法性」との距離および出現順は問いません。

(親子関係 +2 存在 +2 確認) BUTNOT (親子関係 +2 不存在 +2 確認)

⇒ 「親子関係」、「存在」、「確認」が2文字以内の距離にあり、かつ、「親子関係」、「不存在」、「確認」が2文字以内の距離にはない文書を検索します。いずれも語順は指定順に従います。

<注意>

- ()を付けない場合のコネクター間の優先順位はシステム内部で決まっていますが、記述の誤りを防ぐために、必ず()を使用するようにします。
- /n、+n、BUTNOTについては、()で指定できる優先順位に一部制限があります。検索のエラーが表示された場合は、検索式を単純化して実行します。

(3) 「AND/OR」 タブの使い方

横方向に「または」(OR)、縦方向に「かつ」(AND) の条件で掛け合わせて検索します。キーワード横のプルダウンで「を含まず」(BUTNOT) の条件を指定することができます。

「を含まず」を指定する場合は、新しい行に記入します(「かつ」で接続します)。

たとえば、「株主総会」、「決議」、「無効」、「確認」を含むが、「不存在」は含まない文書を検索する場合、次のように記入します。

検索語

検索範囲 : すべて 要旨 全文

フリーワード AND/OR

株主総会	を含ま	または		を含ま	または		を含ま	かつ
決議	を含ま	または		を含ま	または		を含ま	かつ
無効	を含ま	または		を含ま	または		を含ま	かつ
確認	を含ま	または		を含ま	または		を含ま	かつ
不存在	を含まず	または		を含ま	または		を含ま	

Proサーチ : 検索語間が (1~255) 文字以内で、語順に 関係ない 表記の揺れを含む

この検索条件は、「フリーワード」タブの次の検索式と同じ意味となります。

(株主総会 AND 決議 AND 無効 AND 確認) BUTNOT 不存在

(4) 表記の揺れの自動検索 (同義語検索)

検索語

検索範囲 : すべて 要旨 全文

フリーワード AND/OR

検索語の間にスペースを入力すると、「AND条件」で掛け合えます

Proサーチ : 検索語間が (1~255) 文字以内で、語順に 関係ない 表記の揺れを含む

「フリーワード」タブと「AND/OR」タブともに、はじめから「表記の揺れを含む」チェックボックスが選択されており、同義語が自動的に検索されるようになっています。これにより、「取消」、「取り消し」のような送り仮名の違いや、「ねんざ」、「捻挫」といった表記の違いがあっても、いずれもヒットするようになっています。必要に応じて、本チェックボックスの選択を解除することが可能です。

本機能によって実際に検索対象となっている同義語を確認するには、検索結果画面の右側にある「全画面」をクリックして、検索結果を全画面モードに切り替え、検索結果の上部に表示される検索条件を確認します。本機能によって同義語が検索対象になっている場合は、下図のように、検索されている同義語が「OR」条件で接続されて表示されます。

同義語の確認方法

検索結果画面の右側にある「全画面」をクリックする。



全画面の検索結果画面で検索条件を確認する。(下図は、「捻挫」を検索した場合の検索結果画面。)



4. 裁判所

裁判所 :
 上告審を検索

裁判所入力欄は部分一致で検索できます。また、略称で検索することも可能です。

(例)

入力内容	検索の動作
<ul style="list-style-type: none"> 最高裁判所 最高裁 	いずれも、最高裁判所（大法廷と小法廷）を検索します。
<ul style="list-style-type: none"> 最高裁判所第三小法廷 最高裁第三小法廷 第三小法廷 	いずれも、最高裁判所第三小法廷を検索します。
<ul style="list-style-type: none"> 名古屋地方裁判所 名古屋地裁 	いずれも、名古屋地方裁判所（支部も含む）を検索します。

5. 裁判年月日

裁判年月日： 令和 年 月 日 日指定

最新60日以内の判例を検索

一部だけを指定して検索する

年だけ、年月だけで検索することが可能です。

(例)

入力内容	検索の動作
令和 2 年__月__日	令和 2 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までが検索対象となります。
令和 2 年 3 月__日	令和 2 年 3 月 1 日から、同年 3 月 31 日までが検索対象となります。

改元の年の指定

裁判年月日で「平成 31 年」あるいは「令和元年」を指定した場合に検索対象となる範囲は同一です。従って、それぞれの年で検索し直す必要はありません。

(例)

入力内容	検索の動作
令和元年__月__日	いずれも、西暦 2019 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までの範囲が検索対象となります。
平成 31 年__月__日	

6. 事件番号

事件番号： 令和 年 () 第 号

事件番号は、年数、符号、号数だけの検索が可能です。符号だけを指定することで、特定の種類の判例に絞り込むことができます。

(例)

入力内容	検索の動作
令和__年(ク)第__号	最高裁の特別抗告事件が検索対象となります。

※元号部分だけの指定は、何も指定されていないものとして扱われます。

7. 事件名

事件名  :

著名な事件は事件名から検索した方が効率的に判例を探することができます場合があります。それ以外にも、次のような活用方法があります。

参照条文と組み合わせて絞り込む方法

参照条文に挙げられている法条について、いくつかの請求の種類がある場合、参照条文とともに事件名を指定することでその種類を絞り込むことができます。

(例1) 参照条文 = 民法 709 条と組み合わせる例

入力内容	検索の動作
事件名：慰謝料 参照条文：民法 709 条	民法 709 条を参照条文に含む判例の中で、「慰謝料」を請求内容の1つとする事件を調べる場合に有効です。

(例2) 参照条文 = 会社法 830 条（株主総会等の決議の不存在又は無効の確認の訴え）と組み合わせる例

入力内容	検索の動作
事件名：総会 決議 不存在 参照条文：会社法 830 条	会社法 830 条を参照条文に含む判例の中で、株主総会決議が存在しないことの確認を請求する事件を調べる場合に有効です。
事件名：総会 決議 無効 参照条文：会社法 830 条	会社法 830 条を参照条文に含む判例の中で、株主総会決議が無効であることの確認を請求する事件を調べる場合に有効です。

※ 事件名入力欄では、AND、OR 条件を使用することができます。スペースは AND 条件として動作します。

特定の企業に関する判例を調査する

企業名は原則として仮名処理されていないため、キーワード入力欄で判決文中の企業名を検索することもできますが、企業が訴訟当事者となっている有名事件については、「〇〇工業採用拒否事件」のように事件名に企業名が付されている場合があるため、事件名からある企業についての判例を調べることもできます。

8. 裁判官名

裁判官名^① :

合議体の裁判長として関与した判例 単独での裁判

事件を担当した裁判官名で判例を検索することができます。これにより、裁判官ごとに、担当してきた判例の一覧を作ることができます。検索する際、「合議体の裁判長として関与した判例」または「単独での裁判」の指定も可能です。

ヒットした判例に記載されている裁判官名リンクをクリックすると、当該裁判官の略歴と、これまでに担当してきた裁判（本製品に収録されているもの）の一覧を見ることができます。

裁判官の略歴と担当した裁判の確認方法

The screenshot shows a search result for a case. On the left, the case details are visible, including the judge's name '五十嵐浩介'. A red arrow points from this name to a pop-up window titled '五十嵐浩介 (ダントウジョウシ) 第36期'. This window displays a list of cases handled by the judge, with a red arrow pointing to a specific case entry. A second red arrow points from this entry to another pop-up window showing the details of that specific case, including the date and court.

9. 出典・評釈

出典・評釈 誌名 : 出典 評釈

巻 号 頁

出典・評釈とは

出典 … 当該判例の全文が掲載されている書籍・雑誌、ウェブサイト等を指します。

(特に、記名の解説が付されていないものを指します。)

評釈 … 当該判例についての記名の解説記事を指します。

出典・評釈欄の活用

判例が掲載されている書籍・雑誌等から、判例を検索することができます。たとえば、次のような活用が可能です。

- 閲覧したい判例が、ある書籍・雑誌等に乗っていたことが分かっており、雑誌名等から判例を探す。
- 自分が購読している（関心がある）雑誌があり、そこで紹介されている判例に目を通しておく。

(判例の出典・評釈欄に表示される雑誌等で紹介されている判例が、すべて収録されているわけで

はありませんのでご注意ください。)

- 解説の執筆者名を入力して、当該執筆者が解説を執筆している判例を検索する。(「評釈」チェックボックスを選択します。)
- どのような書籍・雑誌があるか分からない場合に、「誌名検索」ボタンをクリックして書籍・雑誌名を調べる。

入力例

ジュリスト OR 判例タイムズ OR 判例時報
商事法務 OR NBL
山田大介

10. 参照条文

各判例には、「要旨」タブの「参照条文」セクションに、当該判例を検討するにあたって参考となる条文(弊社要旨執筆者が特定した条文)を列挙しています。これを利用して、問題となったと考えられる法条から判例を検索することができます。

(なお、判例付き六法のように法条+論点から調査する場合は、新判例体系(本ガイド 11.参照)を、本文中に実際に顕れる法条の文字列を利用する場合は、キーワード検索(本ガイド 3.参照)もご活用ください。)

参照条文を指定する場合、①法令名+条番号を指定する方法、②法令名のみ(法令全体)を指定する方法のほか、「複数指定」タブで①と②を組み合わせたり(かつ/またはで接続)、③ある法令の条番号を範囲指定する方法で指定することができます。

③の方法は、たとえば、民法の後見制度の各規定を参照する判例をまとめて検索することが可能です。

(例)

参照条文

単一指定 **複数指定** 家事裁判法

法令名  : 第 条の の の を参照し、 ▼

第 条の の の を参照し、 ▼

第 条の の の から

完全一致 部分一致 第 条の の の を参照する

1 1. 新判例体系のカテゴリ名検索

新判例体系は、新日本法規出版株式会社が発行している判例集です。判例付き六法のように、法令、条番号、論点から判例を探することができます。2020年9月現在、8万件*を超える判例が体系的に分類されています。

新判例体系は、「条件検索」タブの右隣にある「新判例体系」タブからアクセスします。

新判例体系の画面にあるキーワード検索欄では、体系の見出し（カテゴリ名）を検索することができます。

The screenshot shows the Westlaw Japan interface for searching the 'New Case System'. The search bar contains the keyword '隠出子'. The results are displayed as a tree structure under '民法 (44)'. The '隠出子' category is highlighted in yellow, and its sub-items are listed with their respective counts.

- 民法 (44)
 - 民法 (明治二九年法律八九号) (41)
 - 第四編 親族 (38)
 - 第三章 親子 (27)
 - 第一節 実子 (15)
 - 第七七二条 (7)
 - 実親子関係 (3)
 - (二) 隠出子の出生届手続請求権 (1)
 - (三) 生母と相手方に対し隠出子であることの認知を求める訴え (1)
 - (四) 隠出子確認の訴 (1)
 - =嫡出の推定 (4)
 - (五) 婚姻解消後三百日内に生れた子と隠出子たる身分の取得 (1)
 - (六) 内縁関係中懐胎し婚姻後出生した子と隠出子たる身分の取得 (1)
 - (七) 婚姻前懐胎し婚姻中に生れた子と隠出子たる身分の取得 (1)
 - (一〇) 男性への性別の取扱いの変更の審判を受けた者の妻が婚姻中に懐胎した子と隠出子たる身分の取得 (1)
 - 第七七四条 (2)
 - =嫡出性の否認 (2)
 - (四) 人工授精と隠出子否認の訴 (1)
 - (五) 民法施行前と隠出子否認の訴 (1)
 - 第七七九条 (3)
 - =認知 (3)
 - (五) 戸籍簿上他人の子として記載ある非隠出子の認知 (1)

* 複数の分野に掲載されている判例は重複してカウントしています。

- ヘルプサイトでは、様々なマニュアル・ガイドをご案内しております。ぜひご活用ください。
ヘルプサイトはこちら <https://www.westlawjapan.com/cs/help/manual/>
- 製品のログイン URL のご案内
ID アクセスのお客様：<https://go.westlawjapan.com/wljp/app/signon/display>
IP アクセスのお客様：個別の専用 URL となります。ご契約担当者様にお問い合わせください。
- 本ガイドの著作権はトムソン・ロイター株式会社に帰属します。本ガイドの全部または一部の無断転載を禁止いたします。
- お問い合わせ先
お問い合わせフォーム：<https://www.westlawjapan.com/form/support/>
E-mail：support@westlawjapan.com

改訂：2023 年 11 月 17 日